



▲インスタ映えするお迎え隊。記念写真用にフォトプロップス（顔出しパネルや吹き出しなど）を用意したところ観光客に大人気に。

## 旅人に笑顔のおもてなし

### 安来駅どじょうすくい出迎え隊



「安来節には次のような歌詞があります。『汽車の旅路で安来のまちは出雲名所の筆はじめ』と話すのは上田信也（奥出雲町）さん。「歌詞のとおり安来駅は島根の玄関口です。ここで観光客へのおもてなしのため毎週、安来節の衣装でホームに立っています」。

上田さんは「安来駅どじょうすくい出迎え隊」の代表。今年の2月から毎週日曜日の午前、観光客を乗せた特急列車等を出迎えます。降り立ったお客さんには出雲弁で話しかけ、旅の思い出と一緒に記念写真を撮ります。

また、車中の通過客へはホームから手を振り、皆さんは笑顔で応じます。この会話の無いやり取りでも、安来節のまちを大きくPRしていることでしょう。

安来駅の清水久年駅長は「出迎え隊の皆さんには感謝しています。お客さんには皆さんの熱意が伝わっていると思います」と、他の駅にはない活動で駅が盛り上がることを喜びます。

SNSで仲間が集まる

上田さんがおもてなしを始めたキッカケはある講演会での講師の一言。「安来節をもっと活用すべきだ。写真は旅人の楽しみ」というアドバイスに一念発起。その翌日からホームに立ちました。



▲活動日時は主に毎週日曜日午前9時～10時頃。この夏からは観光列車「あめつち」も出迎えています。

現在、出迎え隊のメンバーは約10人。活動の様子をフェイスブックなどのSNSに投稿したところ、市内外から賛同者が集まり、都合の良いときに皆さんは参加します。この内のひとり前澤春希さん（松江市）は、「皆さんの姿に共感して参加しました。初めての時、車中から手を振ってもらったことではまっぴらでした」と話します。今では、回数を追うごとに、手を振り返してくれる人が増えていくのを実感していると言います。

今日もホームに立つ出迎え隊。上田さんは「降りてきたお客さんが一瞬で笑顔になって、安来に来たことを感じてもらえる」と魅力を語ります。

▼出迎え隊は、隊員をはじめ看板を持つたりシャッターを押したりする補助員も募集しています。問い合わせは安来市観光協会（☎23・7667）へ。

## 編集後記

安来市の人口と世帯数	H30.8.31現在
人口合計	39,056人 (男:18,734人 女:20,322人)
世帯数	14,315世帯

▼「地域医療を守る交流会」で話題に上がった無医地区の問題。安来市は、広瀬町奥田原・西谷が該当し、伯太町草野が無医地区に準じる地区に該当します。この会で取材した高校生は、将来は安来で地域医療に貢献したいと口を揃えて話していました。こうした思いのある学生は本来に重要な存在になりそうです（旬）

▼異常と言えるこの夏の猛暑は、各方面に大きな影響を与えました。広報紙の取材も暑さとの戦いでした。熱くなつた三脚が持てなかつたこと。湿度の高い日は、冷えた車中からカメラを取り出すとレンズが曇ることも。そんな中、炎天下でインタビューに応じてくださった皆さんには感謝しています（9）



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

- 資源保護のため、この広報紙は再生紙を使用しています。
- 広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
- 自治会宛の発送等につきましては、地域振興課（☎23-3067）までご連絡ください。